



6月23日 沖縄慰霊の日



沖縄の日本復帰50年にあたり、沖縄戦の悲劇を謳う「月桃」の歌碑が建立されました。JR東労組も歌碑の建立を支援し、「月桃」歌碑実行委員会から表彰されました



6月23日、沖縄は太平洋戦争末期の沖縄戦などでの犠牲者を悼む「慰霊の日」を迎えました。

当時、アメリカが本土決戦の足掛かりとして沖縄に上陸する一方、日本は本土決戦を防ぐための「捨て石」として沖縄を利用しました。学生にも軍事関連の協力を求める学徒動員が行われ、沖縄県民の4人に1人が犠牲となり、日米合わせて20万人以上が命を落としました。

一方、現代でもロシアによる侵攻と、ウクライナによる国民への徹底抗戦の強制、その裏でアメリカなどの軍需産業が莫大な利益を上げるなど、時代は変わっても労働者や弱者が犠牲になる構図は変わりません。ウクライナ情勢を足掛かりに軍事大国化や憲法改悪へと進む日本の現状を認識し、私たちが安心して暮らせる社会をつくるためにできることを考えましょう。